

平成28年度 事業報告

1 概要

平成28年度版「厚生労働白書」によれば、我が国における生産年齢人口（15～64歳）は平成4年をピークに、平成72年まで今後一貫して減少を続けることが見込まれている。日本を支える労働力不足が懸念される中で、働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなく活躍できる「生涯現役社会」を実現することが重要であり、同白書においても、シルバー人材センターを、大きな役割を持つ存在として位置づけている。

平成28年度において当センターは、そうした社会的な役割を果たすべく、働く意欲を持つ高齢者の受け皿として多くの就業機会を提供し、健康維持や生きがい作りに寄与していくことを目的として事業展開を実施した。

当センターにおける平成28年度事業実績は768,794千円となり、残念ながら前年度比1.9%減、金額にして14,665千円の減収となった。受託件数としては7,719件となり、前年度と比較して540件の増となっている。内訳をみると、公共事業ではスカイツリー関連業務の縮小等により、事業実績は前年度比2.2%の減という結果になった。また民間事業においても、個人家庭からの事業実績はやや上昇したものの、大規模スーパー等の受託業務の縮小等により、事業実績は前年度比1.5%減という結果になった。結果として、公共・民間ともに事業実績は減少している。

会員数は、平成28年度末で1,798人となり、前年度末と比べ36人の増加となった。また会員の就業率は、前年度の77.6%から73.5%となり4.1ポイントの減となった。会員数が増加に転じたのは、昨年度と比較して退会者数が抑えられたためであり、新規入会者数は平成23年度以降減少の一途を辿っている。そのため、新規入会者数増加のための取り組みが、当センターの喫緊の課題である。

平成28年度事業の特徴としては、4月からスタートした墨田区介護予防・日常生活支援総合事業における、訪問型サービス事業の協力団体としての、家事援助実施グループ「エンジョイ家援隊」の活動が挙げられる。生活支援を必要とする方の自宅を訪問し、家事援助を提供する本訪問型サービス事業において、初年度である平成28年度は277件の実績を上げ、介護事業の一助となる貢献を果たすことができた。

その他の大きな動きとしては、平成29年度4月からの、派遣事業への参入を決定したことである。労働者派遣事業への参入によって、請負契約では困難な、多様な分野における働き方を高齢者に提示することが可能となる。

これからも当センターは、「生涯現役社会」の実現に寄与する公益団体として、その役割についての期待に応え、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに取り組んでいく。

2 会員状況・事業実績等

後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1回
(2) 臨時理事会	1回
(3) 理事会	12回
(4) 地域班長会議	4回
(5) 安全管理委員会	4回
(6) 入会説明会	12回
(7) 総務部会	1回
(8) 事業部会	2回
(9) 広報部会	16回
(10) 合同部会（総務部会・事業部会）	1回
(11) 地域班連絡会議	20回
(12) 家事援助事業推進委員会	12回
(13) 就業適格性審査委員会	2回

4 事業の実施内容

(1) 普及啓発活動の推進

- ・ 会員広報誌として「シルバーすみだ」を年4回発行した。
- ・ 区のお知らせ、区勢概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。
- ・ すみだ生涯学習センター情報誌「みらい」に広告を掲載し、仕事の受注拡大を図った。
- ・ 区内循環バス内に広告を掲出し、事業の普及啓発に努めた。
- ・ 10月を広報活動強調月間に設定し、次の事業を実施した。
 - ア 第41回すみだまつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。
 - イ 区内商店街や大型スーパー店等で啓発物資を配布した。
 - ウ すみだ消費生活展に参加し、就業相談を実施した。
 - エ 団地まつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。
- ・ リーフレットや啓発物資を作成し、配布した。
- ・ インターネットのホームページにより、シルバー人材センターの紹介等を行った。また、ホームページのリニューアルを実施し、更なるセンター事業の普及啓発に努めた。
- ・ 平成28年10月19日～23日にすみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示した。
- ・ 「すみだ環境フェア 2016 スポーツGOMI 拾い大会」に、もてなし隊の会員が参加し、見事優勝を果たしセンター事業の普及啓発に貢献した。
- ・ 東京しごと財団主催のイベント「しごと探し応援デー」（イトーヨーカドー曳舟店で開催）に参加し、花体操教室受講会員による体操の実演を通じて、地域のシニア世代に

対し、センター事業への普及啓発に努めた。

- ・ 東京しごと財団主催のイベント「いきいきシルバー 活躍応援フェスタ」(江戸東京博物館で開催)に参加し、ウクレレ及び花体操教室受講会員を中心にした実演を通じて、地域のシニア世代に対し、センター事業の普及啓発に努めた。

(2) 就業機会拡大のための事業、研究

- ・ 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に会員が参加して、技能の向上を図った。
- ・ 民間事業の受注拡大のため、就業開拓員が積極的にPR活動を行った。
- ・ 家事援助事業の受注拡大のため、家事援助事業推進委員会が主体となり「エンジョイ家援隊」チラシを作製・配布する等のPR活動を行った。
- ・ 平成29年度からの労働者派遣事業への参入を決定し、それに伴う派遣事業所の開設等の準備に取り組んだ。
- ・ 第二期中期計画に基づき、発注者側の意見を聴取して就業内容に反映させることを目的として、発注者457団体(人)に対して、アンケート調査を実施した。
- ・ ホームページ会員専用サイトに求人募集記事を掲載するとともに、当センター受付カウンターに求人情報ファイルを配備し、会員への求人情報の提供に努めた。

(3) 会員・役員研修

- ・ 第一ブロック(墨東五区)シルバー共催

ア 正副会長会議(葛飾区)	1日	2人
イ 班長会議(江戸川区)	1日	10人
ウ 安全管理研究会(葛飾区)	1日	2人
エ 安全就業研修会(江東区)	1日	12人

- ・ 墨田区シルバー主催

ア パソコン研修	82日	1,969人
イ スキルアップ研修(接遇研修)	2日	109人
ウ 家事援助研修	1日	32人

- ・ 東京しごと財団主催

ア 会長・副会長研修	1日	2人
イ 監事研修	1日	2人
ウ 安全大会	1日	2人

- ・ 業務別懇談会

ア 押上駅前自転車駐車場全体会議	2日	52人
イ スカイツリー周辺美化清掃会議	7日	59人
ウ 錦糸町駅地下自転車駐車場班長会議	2日	22人

- ・ 職員研修
第一ブロック（墨東五区）共同研修の開催及び財団主催の合同研修への参加等により職員の資質向上を図った。
- ・ 基礎講習会
就業にあたり必要な注意点や心構えを説明するため、新入会員及び既存の会員を対象にした基礎講習会を開催し、504人の会員が受講した。

(4) 相談業務

- ・ 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。また、区のイベント等でも高齢者の就業相談を行った。

(5) 安全対策

- ・ 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全管理委員会を開催し、安全就業の強化・推進を図るため、安全対策実施計画を策定した。
- ・ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。
- ・ 安全管理委員等による安全具の整備・点検及び実態把握のための、就業現場の安全パトロールを6回（計19ヶ所）実施した。
- ・ 安全就業強化月間の際、自転車修理を得意とするセンター会員2名により、自転車の安全点検を実施した。
- ・ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。
- ・ 安全講習会への参加及び第一ブロック共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及び再発防止対策等を検討した。
- ・ 仕事別従事会員等において、就業中、就業途上及び帰宅途上の事故防止について呼びかけた。
- ・ 会員の自転車事故防止のため、警察協力のもと、当センター駐車場及び錦糸公園にて自転車安全運転講習会を実施した。
- ・ 熱中症対策のために、全会員にマジクールフィットを配布した。

(6) 健康増進事業の推進

・ カラオケ教室	10回	435人
・ ウクレレ教室	12回	207人
・ 健康体操教室	10回	306人
・ すみだ花体操教室	20回	328人

(7) 社会奉仕活動

- ・ 第41回すみだまつり、すみだボランティアまつり、東京大マラソン、墨堤さくらま

つりにボランティアとして参加し、社会奉仕活動を実施した。

- 認知症に対する正しい知識の普及を図り、認知症の人や家族に対する理解を促進するため、基礎講習会受講者を対象にオレンジサポーター（認知症サポーター）養成講座を実施した。
- ラヴィーレ錦糸町（老人ホーム）からの実演依頼に基づき、施設慰問ボランティアとして、花体操教室受講会員が花体操を実演した。